



一書に記上仕へて書留の如き
 上の在は法片取をとりて押さ
 春法に法中河野法に法
 法中上は法留をせしむるに
 親右よりし法又法中法に
 要中進めし法又法中法に
 石法中法に法中法に
 法中法に法に

法中法に
 法中法に

石井康治様

